



# 2025年8月期 第1四半期 決算説明資料



株式会社 I N G S  
(証券コード：245A)

2025年1月

## 2025/8期 1Q業績

- 既存店はラーメン事業106.0%、レストラン事業108.9%と好調に推移し、売上高は1,770百万円(昨対比+287百万円)で着地
- 営業利益は25/8期から(外形標準課税適用による)租税公課の計上もあり、65百万円(昨対比△13百万円)で着地

## 2025/8期 1Q Topics

- 1Q(9月)に東証グロース市場へ上場、増資による資金調達が完了
- 1Qの新規出店は、レストラン事業における新業態含む直営店3店舗、加盟店(※)2店舗
- 新たに株主優待制度の導入を決定

※ラーメン事業におけるプロデュース店舗及び、レストラン事業におけるライセンス店舗を指しております。

# Section 1. 2025/8期 第1四半期 決算報告

---

# 2025/8期 第1四半期 業績サマリー(損益計算書)

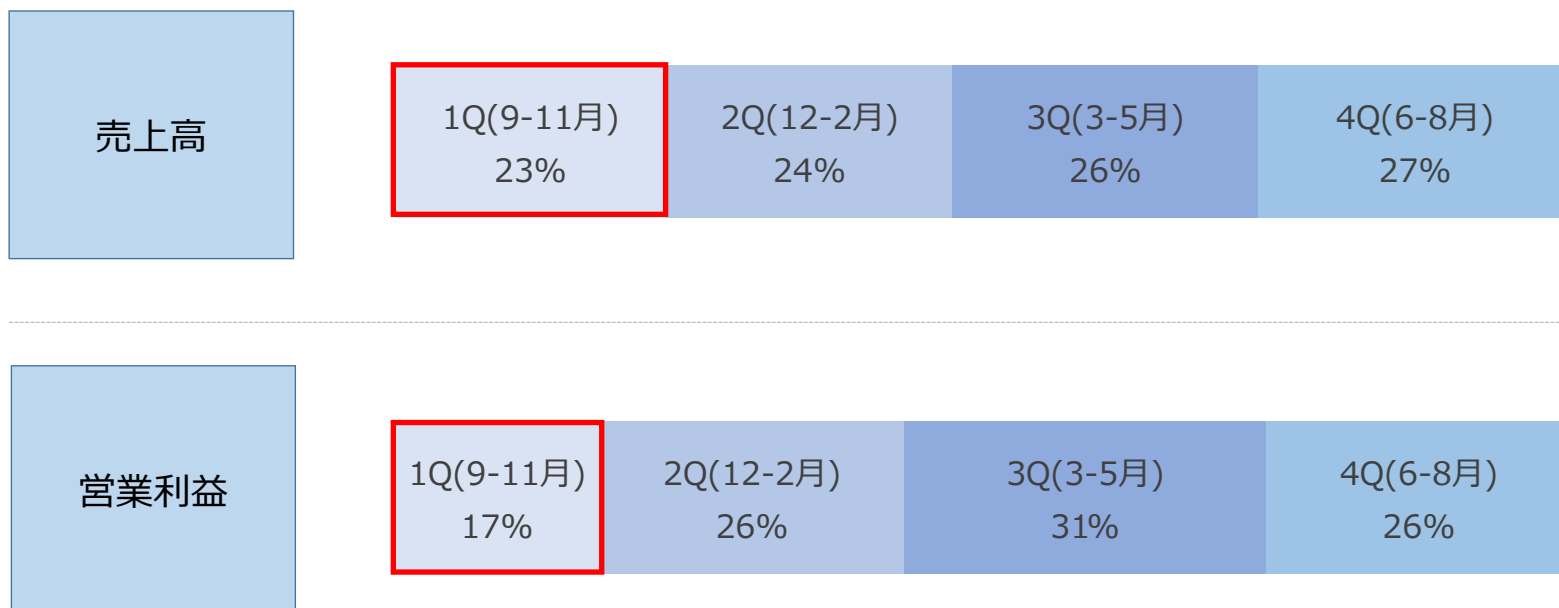
- 売上高では、既存店が両事業ともに前年を上回る実績となり好調であったこと、売上高に占める直営店の割合が増えたこと等も背景に**売上高総利益率は昨対比+0.8%にて着地**
- 営業利益では、通期予想の前提で記載の通り、**25/8期は上場、資本金の増加に伴う外形標準課税の適用により、租税公課が増加したこと等を背景に昨対比では減益に**
- 経常利益では、1Q上場に伴う**一過性の費用(営業外費用)として上場関連費用及び株式交付費計17百万円を計上**
- 四半期純利益では、25/8期からの(上述の外形標準課税適用による)**税率変更による繰延税金資産の減少、それに伴う法人税等調整額の増加(1Q特有の要素)等を背景に昨対比で減益となった**

(百万円)	2024/8期 1Q	2025/8期 1Q	前年増減
売上高	1,483	1,770	+287
売上総利益	971	1,173	+202
営業利益	78	65	△13
経常利益	72	41	△31
四半期純利益	50	12	△38
売上高総利益率	65.5%	66.3%	+0.8%
営業利益率	5.3%	3.7%	△1.6%

# (ご参考)四半期毎の業績推移について

- 当社売上高につき、年末(忘年会シーズン)の12月(2Q)、年度末(歓送迎会シーズン)の3月やGWの5月(3Q)の時期に伸びる季節性は一定あること、また、新規出店を継続していく中で、**期末に近づく四半期ほど、年間に占める売上の割合は増加していく想定**
- 利益面に関しても、**第一四半期は労働保険料等の費用が生じることから、他の四半期対比で利益は少なくなる傾向で、これは25/8期も同様の想定**

2024年8月期実績における四半期毎の内訳割合



- 新規出店店舗の上乗せ、両事業における既存店の成長を踏まえ、25/8期1Qの前年比での売上高成長率は19.4%の水準となった

売上高成長率

19.4%

新規出店数

直営店

3店舗

プロデュース・ライセンス店

2店舗

既存店売上高  
(前年同期比)

ラーメン事業

106.0%

レストラン事業

108.9%

# 2025/8期 第1四半期 業績サマリー(セグメント損益)

(百万円)	24/8期 1Q	25/8期 1Q	前年増減
売上高(A)	1,483	1,770	+287
ラーメン事業	776	940	+164
レストラン事業	706	829	+123
営業利益	78	65	△13
ラーメン事業	77	72	△4
レストラン事業	1	△7	△8
営業利益率	5.3%	3.7%	△1.6%
営業利益+のれん等償却費(※)(B)	105	92	△13
ラーメン事業	77	72	△4
レストラン事業	28	19	△8
(B)÷(A)	7.1%	5.2%	△1.9%
ラーメン事業	9.9%	7.7%	△2.2%
レストラン事業	4.0%	2.4%	△1.6%

※2018年10月にキャンディーBOX社をM&Aにより完全子会社化、2021年8月に合併しており、当該M&Aに伴うのれん償却費及び無形資産償却費(四半期 27百万円)となります

# Section2. 2025/8期 第1四半期 Topics

---



# Topic①：東証グロース市場上場、増資による資金調達完了



- 2024年9月に東証グロース市場に上場
- 9月の公募増資、また、上場後も公募価格を割れることなく株価は推移し、オーバーアロットメント全株分、10月に第三者割当増資を実施。結果として純資産17億円、自己資本比率は22%から40%へ改善

(百万円)	24/8期	25/8期1Q	増減
流動資産	1,306	1,929	+622
現金及び預金	1,005	1,605	+599
売掛金	145	141	▲4
その他	155	183	+27
固定資産	2,140	2,294	+154
有形固定資産	1,140	1,290	+149
無形固定資産	452	425	▲27
投資その他の資産	548	579	+31
総資産合計	3,451	4,226	+775

(百万円)	24/8期	25/8期1Q	増減
流動負債	1,251	1,201	▲50
買掛金	222	234	+11
1年内社債・長期借入金	522	478	▲44
その他	506	488	▲17
固定負債	1,429	1,327	▲101
社債・長期借入金	1,197	1,093	▲104
その他	231	234	+2
純資産	770	1,697	+927
負債純資産合計	3,451	4,226	+775

# Topic②-1：直営店では新業態1店舗を含む3店舗の新規出店

- 直営店はラーメン事業で2店舗、レストラン事業1店舗を新規出店
- レストラン事業では新業態として「金目樽」溝の口店をOPEN。「焼売のジョー」で培った居酒屋オペレーションを活かし、**35坪以上の大箱や2層物件でも出店可能な業態として開始**

2024年9月

日本油党 中野支部 OPEN



2024年11月

金目樽(レストラン事業 新業態) 溝の口店 OPEN



2024年11月

らぁ麺 はやし田 新橋店 OPEN

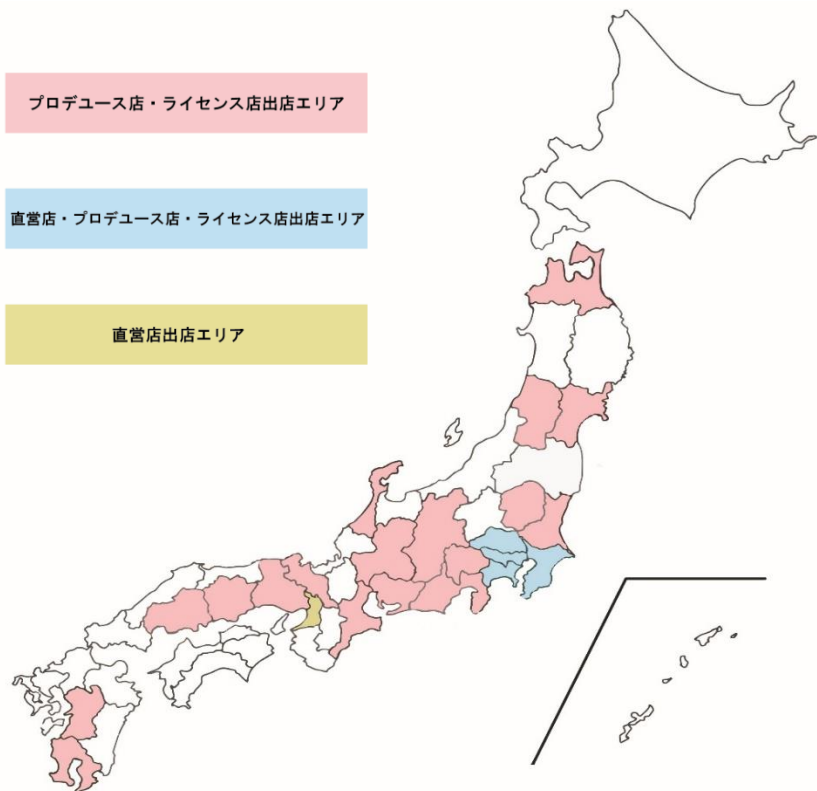


- ✓ サラリーマン、学生を主なターゲットとし、ドリンクは、生ビール299円(税込329円)、ハイボール・サワー・お茶ハイ199円(税込219円)、各種メガジョッキ299円(税込329円)、2時間飲み放題999円(税込1,099円)と低価格で提供
- ✓ 客単価はレストラン事業他ブランドと近く、2,000円台前半を想定
- ✓ メイン商品は、博多水炊き・骨付鳥・鶏出汁塩おでん・やみつき焼売(下写真参照)



- ラーメン事業のプロデュース店、レストラン事業のライセンス店それぞれ新規で1店舗がオープンし、**計2店舗がオープン**
- 出店エリアにつき、**一都三県、地方それぞれで展開が広がっている状況**

直営店・プロデュース、ライセンス店 出店済エリア(2024年11月末時点)



(ご参考)エリア毎の出店戦略イメージ

	一都三県 (※1)	一都三県 (※1)	一都三県以外 (※2)	一都三県以外 (※2)
	都市型	郊外・ロード サイド型	都市型	郊外・ロード サイド型
ラーメン事業 直営店	✓	✓	—	—
レストラン事業 直営店	✓	—	—	—
ラーメン事業 プロデュース店	✓	✓	✓	✓
レストラン事業 ライセンス店	✓	—	✓	—

※1 直営店：一都三県の主に乗降客数10万人以上のエリア  
 プロデュース店、ライセンス店：一都三県の主に乗降客数3万人以上のエリア  
 での出店を想定  
 ※2 直営店はあくまで一都三県中心の出店ではあるものの、一部、大阪府等の3大都市圏の出店も想定

※一都三県は、東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県を示しております。

- 当社株式への投資の魅力を高め、より多くの株主様に中長期で当社株式を保有いただくこと、また、当社事業、運営店舗の認知や、理解の拡大を図ることを目的として株主優待を新設
- 優待の内容としては、店舗で利用できる食事券に加え、店舗へのご来店が難しい株主様のことも勘案し、ECサイトでの利用も選択肢としてご用意する予定

保有株数	優待内容
100株～299株	2,000円相当(1,000円相当×2枚)の食事券(電子チケット)(※) (年2回、年間4,000円相当)
300株～499株	6,000円相当(1,000円相当×6枚)の食事券(電子チケット)(※) (年2回、年間12,000円相当)
500株以上	10,000円相当(1,000円相当×10枚)の食事券(電子チケット)(※) (年2回、年間20,000円相当)

## 電子チケット 利用可能範囲

- ① ラーメン事業 直営店・・・1枚につき、券売機及びメニュー表からお好きな一品が無料
- ② レストラン事業 直営店及びライセンス店(一部店舗除く)・・・上記金額を割引
- ③ ECサイト(当社らぁ麺の冷凍商品)・・・上記金額を割引  
(それぞれにつき、ご利用代金が電子チケットの金額を下回った場合には、差額の返金はありません。)

## 対象となる株主様

継続して半年(6ヶ月)以上、当社株式を100株以上保有する株主様(※)を対象

※100株以上を保有し、毎年2月末日及び8月末日の当社株主名簿に、同一株主番号で2回以上連続して記載または記録されている株主様

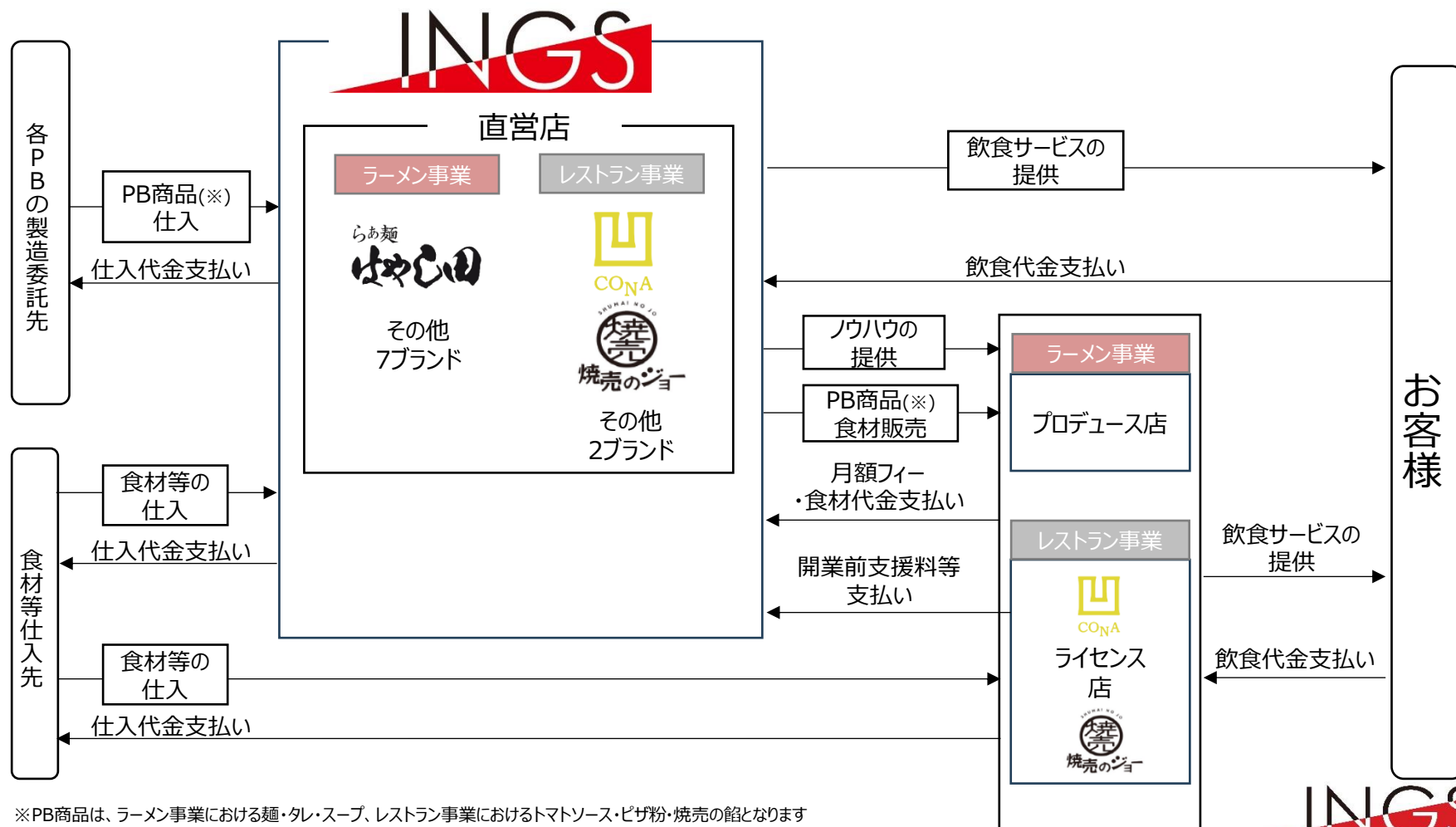
## 株主優待制度の開始時期及び贈呈の時期

初回は2025年2月末及び2025年8月末時点の当社株主名簿に、同一株主番号で連続2回記載され、当社株式を100株以上保有されている株主様を対象として株主優待制度を開始。対象となる株主様には2025年11月にご案内をお送りする予定(株主総会招集通知に同封を予定)

## 参考資料①. 会社概要

---

- ① ラーメン事業 – 直営店部門、プロデュース部門(PB商品等の食材販売や店舗運営のノウハウ提供等) を展開
- ② レストラン事業 – 直営店部門、ライセンス部門(PB商品等の食材販売や「CONA」及び「焼売のジョー」のライセンス貸与)を展開





- ラーメン事業 直営店部門は、「らぁ麺 はやし田」が主カブランドであり22店舗を展開
- 2023年3月に1号店をOPENした「日本油党」も足元出店を増やしている

ジャンル	醤油	油そば	塩	煮干し
ブランド	 <p>らぁ麺 はやし田 らぁ麺 時々 くら湯 心松</p>	 <p>日本油党</p>	 <p>金目鯛 らーめん 鳳仙花</p>	 <p>煮干中華そば 鈴蘭</p>
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ はやし田は、ラーメン事業の主軸ブランド</li> <li>✓ 鴨、大山鶏の丸鶏を使用した醤油ベースのらぁ麺を提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 油そば専門店</li> <li>✓ ベーシックな油そばから、釜玉油そば、たらこバター釜玉油そば等を提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 金目鯛のアラを使用した鯛スープ</li> <li>✓ のど越しを重視した全粒粉入りの香り豊かな細麺を使用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 煮干スープと、豚骨、鶏ガラ等の数種類の動物系食材を併せたダブルスープをベースとしたラーメン</li> </ul>
商品写真				

- ラーメン事業 プロデュース部門では、ラーメン店の開業に関する支援、当社のPB(プライベートブランド)商品を販売。屋号は当社のブランド名でなく、**オーナー様独自の屋号にて展開**
- 開業時に負担する加盟金や研修費をゼロとしていること、また、居抜きでの出店も可能であることから、オーナー様は**投資額を抑えた出店が可能**

## プロデュース部門の特徴

項目	概要
屋号	オーナー様のオリジナルブランドとすることが可能
指定食材	メインの食材 (麺、タレ、スープのみ) (※)
加盟金	0円
研修費	0円
月額フィー	月額5万円

## プロデュース部門の店舗出店事例





## ● CONAの特徴

- ① 生地から手作りの窯焼きPIZZA  
30種以上がALL500円
- ② サイドメニューも500円～
- ③ WINE BOTTLEが1本1,900円～

## ● 焼売のジョーの特徴

- ① ありそうでなかった焼売酒場
- ② 焼売1個99円
- ③ 中華料理から居酒屋定番おつまみ、  
SNS映えするメニューも提供

いずれのブランドも客単価2,500円前後となっており、リーズナブルな業態  
⇒直営店のみならず、ライセンス店を通じ、地方含めた全国展開が可能なモデル

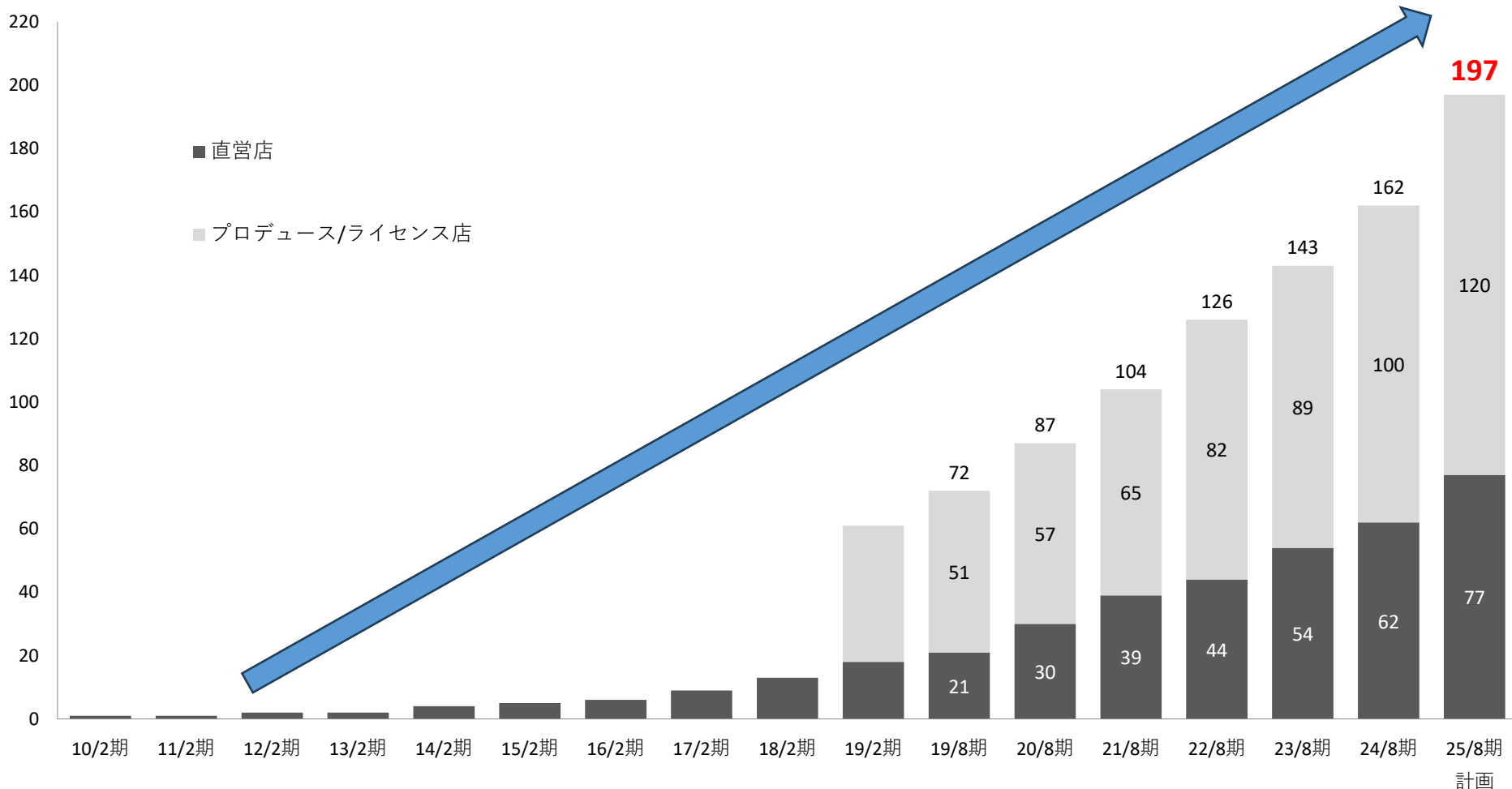


## 参考資料②. 2025/8期 業績見通し(変更なし)

---

# 店舗数推移及び2025/8期 新規出店計画

- コロナ禍においても新規出店を継続、2024年8月末時点の合計店舗数は162店舗
- 2025/8期は直営店でラーメン事業7店舗、レストラン事業8店舗の計15店舗出店、プロデュース・ライセンス店では純増20店舗を計画、2025年8月末で計197店舗を想定



- 前述の新規出店数の想定を踏まえ、売上高は23%成長を想定
- 既存店においては、2事業ともに前年比100%程度を想定
- 販管費においては、上場に伴う租税公課(外形標準課税)の上乗せを見込む

(百万円)	2024/8期	2025/8期	前年増減	前年比
売上高	6,418	7,896	+1,477	+23.0%
ラーメン事業	3,290	4,027	+736	+22.4%
レストラン事業	3,128	3,868	+740	+23.7%
売上総利益	4,239	5,164	+924	+21.8%
営業利益	450	506	+55	+12.4%
経常利益	425	472	+46	+11.0%
当期純利益	285	301	+15	+5.4%

- 本資料に含まれる当社以外の企業等に関する情報及び第三者の作成に係る情報は、公開情報等から引用したものであり、そのデータ・指標等の正確性・適切性等について、当社は独自の検証は行っておらず、またこれを保証するものではありません
- 本資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward looking statements) を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます
- 今後、新しい情報・出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません
- 本資料は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません